

はじめに

令和5年・令和6年のアンケートに回答いただいた皆さん、ありがとうございました。

様々なご意見をいただきましたので、皆さんにフィードバックさせていただくとともに、改善可能な点については保健管理センターで検討させていただきます。

また、アンケートでいただいた健診に関する質問、疑問等についても、回答いたします。

1 健康診断の場所について

文京町キャンパスの在學生は文京町の保健管理センターで、本町キャンパスの在學生は本町の保健管理センター分室で実施しています。

ただ、新入生の健康診断については附属病院内科医師の診察が必要であり、多忙な日程の調整が必要であることもあり、本町キャンパスの保健管理センター分室で実施しておりました。

しかし、今回のアンケートでは「健診場所がわかりにくい」、「炎天下の中、移動するのが大変」といった意見が散見され、過去には文京町から本町への自転車移動でのケガも報告もありました。

そこで、附属病院内科へ依頼の上、日程調整を行い、文京町地区の新入生の皆様には長い間ご不便をおかけしておりましたが、令和7年度より、文京町地区新入生の健康診断につきましては、50周年会館と保健管理センターで実施予定としました。（従来通り本町キャンパスで実施する日程もあり）

2 検査項目の根拠について

大学生の健康診断の項目は、学校保健安全法の趣旨を踏まえて項目を決めており、血液検査等の希望もありますが、本学では予算の関係もあり、現在の項目になっています。

レントゲン検査においては、平成17年4月の法改正により、大学生の場合、新入生以外は必須ではありません。本学では新入生（学部・大学院）と医学部でレントゲン検査を実施しています。

なお、医学部については医療機関での実習が必須であることから、レントゲン検査を実施しています。

3 結果の確認方法について

令和5年より健康診断結果をCampussquareに掲載することになり、結果の確認方法についてはCampussquare経由でメール配信しています。しかし初年度ということもあり、十分周知できていなかった可能性があります。

令和5年は、結果を確認した方は約半数でしたが、令和6年には7割以上となっていましたので、保健管理センターとしては、引き続きCampussquareやホームページに確認方法を掲載するなど、皆さんへの周知に努めたいと思います。

4 健診の必要性について

今回のアンケートでは、9割の方が健康診断の必要性に理解を示していましたが、任意の参加にしてほしいといった意見もありました。

本学の健康診断は「学校保健安全法」に基づいて、毎年6月30日までに行っています。また「弘前大学学生等健康診断規程」により健康診断が義務付けられています。

受けなかった場合の罰則規定はありませんが、受診しなかった場合、就活等で必要になる健康診断証明書を発行することはできません。必要になってから困る場合があります、その際には、自費で他医療機関にて受けていただいています。(健診期間外の健診は実施していません)

自分自身の健康管理は社会に出るとますます必要になってきます。自身の健康管理に責任を持ちましょう。

5 健診開始期間前の各学部への協力依頼について

健康診断の日程については計画前に各学部の意見を聴取しています。今後も各学部への協力依頼については引き続き行っていきます。よろしくお願いいたします。

2025年3月
弘前大学保健管理センター

以下がアンケート結果の概要です↓

○調査期間：令和5年（2024.3.1～3.22） 令和6年（2024.11.5～12.6） ○調査方法：無記名式のWEB調査

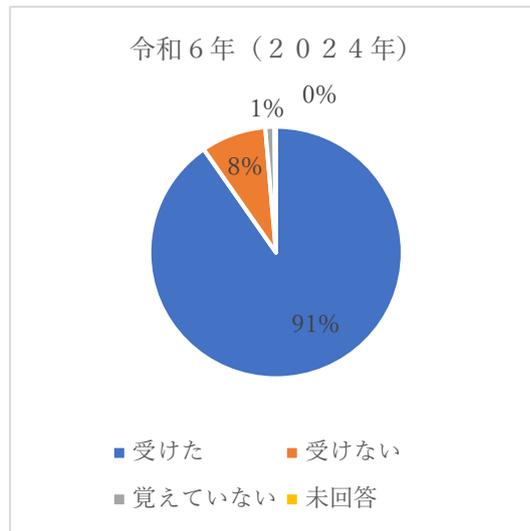
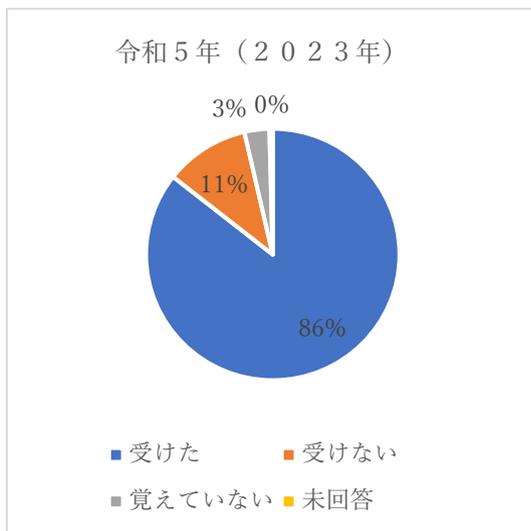
○調査対象：在学する学部生・大学院生

○有効回答数：令和5年（722名） 令和6年（517名）

Q：学生定期健康診断は受けましたか

令和5年は86%が、令和6年は91%が健康診断を受けていました。

参考までに、学部全体の受検率は、令和5年が70.7%、令和6年が69.8%でした。

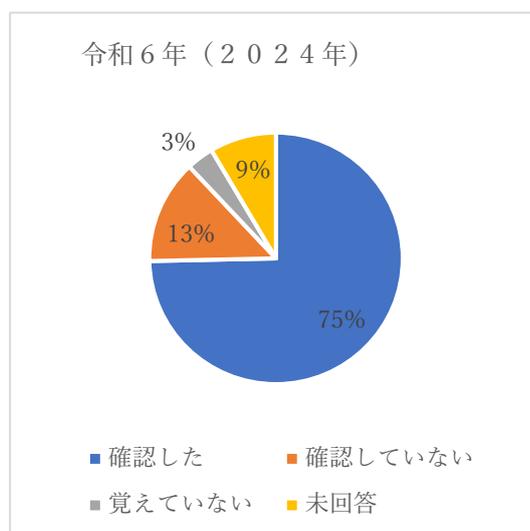
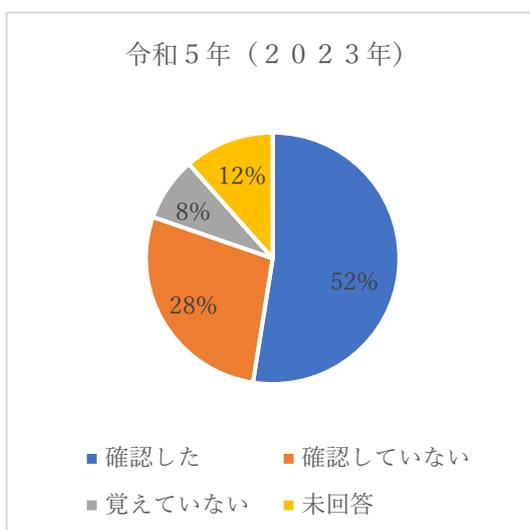


Q：健康診断結果をCampussquareで確認しましたか

Campussquare内の健康管理情報で健康診断結果が閲覧可能となりました。

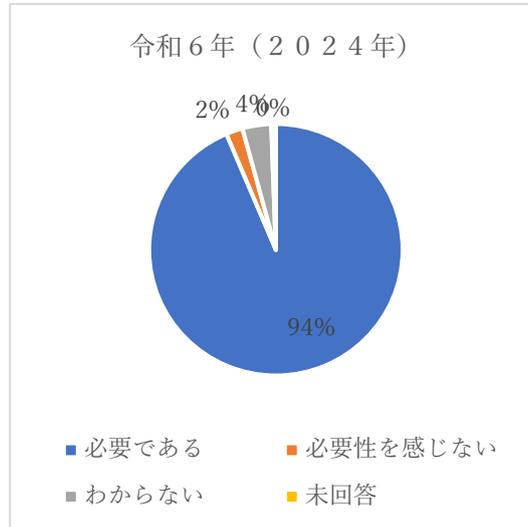
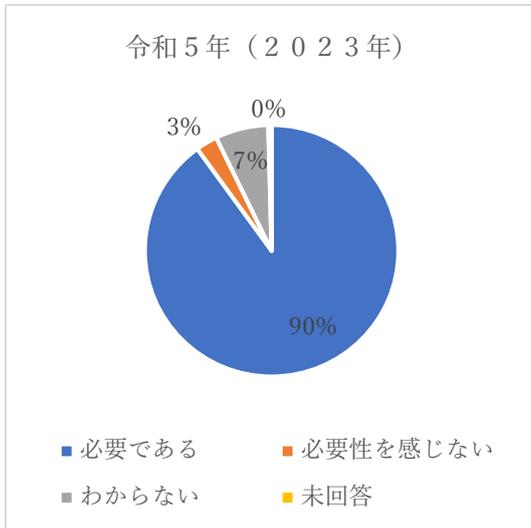
令和5年では52%が確認していましたが、令和6年では75%が確認してました。

令和5年、令和6年ともに確認していない理由として「Campussquareで確認する方法がわからない」が大半を占めていました。掲載初年度だったこともあり、Campussquareでの確認方法についてホケカンで周知不足だったと考えられます。



Q：健康診断は必要だと思いますか

健康診断の必要性については、令和5年、6年ともに9割の方が理解を示してくれています。引き続き理解を深めてもらうために、ホケカンでは健康診断を受けることのメリットを伝える必要があると考えます。



Q：健康診断を受けることで得られるメリットはなんですか（複数選択）

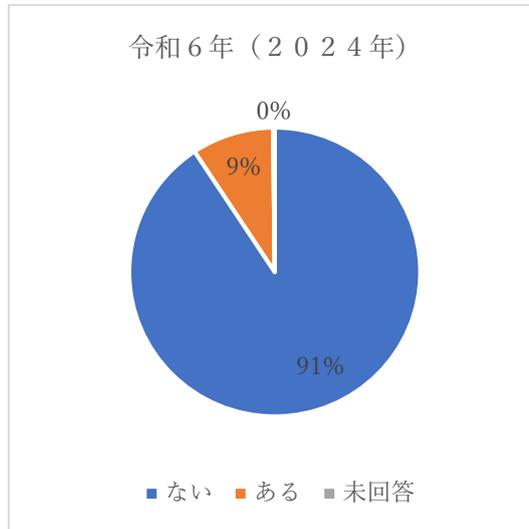
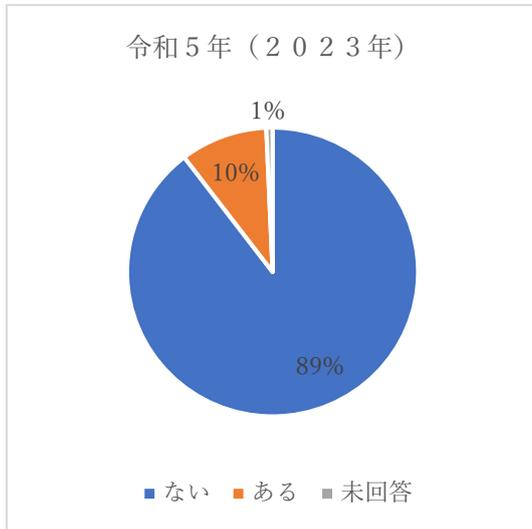
令和5年、令和6年ともに健康診断を受けることで得られるメリットとして『健康状態の把握』、『病気の早期発見・早期治療』をあげていました。

小・中・高・大学で行う健康診断は、個人を対象として医師が確定診断を行うものではありません。異常の疑いがあるかという「スクリーニング」の意味合いが強いものです。スクリーニングによって病気の早期発見・早期治療に繋げることができます。



Q：健康診断を受ける際の不安や懸念はありますか

健康診断を受ける際の不安や懸念について、令和5年、令和6年ともに約9割が『ない』と回答していました。不安や懸念が『ある』と回答した詳細については次項に記載しています。



Q：健康診断を受ける際の不安や懸念の理由はなんですか（複数選択）

令和5年、令和6年ともに『受けるのに時間がかかる』、『悪い結果がでるのが怖い』、『胸部レントゲン検査などで服装の準備が面倒である』という理由が多数を占めていました。

文京町在学生の健康診断にかかる所要時間は、待ち時間も含め10分程度です。しかし、新入生の健康診断については、予約状況にもよりますが、内科健診や胸部レントゲン検査もあることから20分～30分要します。所要時間についての案内も併せて周知していく必要があることがわかりました。

悪い結果（異常）だった場合、ホケカンから個人へ直接連絡をする対応をしています。医療機関を受診するなどの行動に繋げるためにも、引き続き対応をしていきます。

胸部レントゲン検査では、金属やプラスチックが画像に写ると正確な診断の妨げになるため、具体的な服装の準備について周知を図っていきたいと考えています。



Q：不安や懸念の理由（自由記載の一部）

令和5年、6年とともに新入生の健康診断実施場所である保健管理センター分室（本町キャンパス）への移動が困難であること、検査項目が少ないことなどが理由にあがっています。

令和5年	医学部キャンパスまでいかなければならない。
	医学部以外は身長・体重・血圧・尿検査のみで大丈夫なのか。理由を説明してほしい。
	血液検査や心電図検査もしてほしい。若年発症が比較的多いがん検診などもしてほしい。
令和6年	普段行かない場所で健康診断を受けるので、道に迷って大変だった。
	健康診断の場所がわからないので迷った
	健康診断の項目が少ないため、本当に健康なのかわからない

Q：希望する情報提供やサポートはなんですか（複数選択）

令和5年、令和6年ともに「健康診断の日程や場所について、わかりやすくおしえてほしい」という理由が大半を占めていました。

ホームページおよび Campussquare 掲示板にも日程や予約方法について掲載し、周知を図っていますが、今回の結果から情報が十分に伝わっていない現状が明らかになりました。情報の伝達方法や改善点については今後、意見を募りたいと考えています。

